



平成27年12月3日 NO・84
 〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp
 【ホームページで、カラー版が見られます】

常中魂の基本、相手をハッピーにする挨拶

看護状況
 全職員で登校指導を行った。元気な声であいさつできていた。また、廊下ですれ違、たまたまほとんどの生徒が会釈できており気持ちいい。期末テストに向けて、ワーク等を計画的に進めている生徒が増えている。3分前着席については、まだ意識が低い生徒が見られる為、教師が早めに行動に

在学児童生徒数	人	出席者数	人	欠席者数	人	(内病欠者数)	人	出席停止者数	人	忌引	人
大書		大書		大書		大書		大書		大書	
大内		大内		大内		大内		大内		大内	
川又		川又		川又		川又		川又		川又	

いとは、声をかけなしていき
 ろい。教師が先にあいさつを。
 教師が先に教室へ、か大印です。

中学生の朝は早い。まだまだ頭が十分に起ききっていないような早朝から家を出ることもあるだろう。しかし、「おはよう」「おはようございます」と笑顔で、友が、後輩が、先輩が挨拶をしてくれたらどうだろう。おそらく一瞬にして脳が覚醒する。『よし、今日も一日がんばろう』という気持ちになるはずだ。だから、「まず自分から挨拶」が大切なのではないだろうか。先日のマラソン大会後、受賞者たちの返事の声が小さかったときに「返事の声が小さいことが、学校の崩れにつながるように」という内容の記事を載せた。

この記事に生徒諸君がすぐに反応してくれたことがうれしい。朝の挨拶の声を元気に、明るくしようという気持ちを、多くの生徒諸君が持ってくれたことが、先生方の日誌から伺える。また、朝の挨拶運動を自主的に行ってくれている人たちがいる。このこともうれしい。「自分たちの学校は、自分たちでつくる」このような自主自立の精神が感じられるからだ。今日は、雨模様だが、常中生の前向きな気持ちが感じられ、心の天気は快晴だ。

11月27日より、ランニングタイムが始まった。日の入りが早くなる冬期に、各部活が一斉に校庭に集合し15分間走る。走ることは、全ての運動の基礎になる。また、部活のメンバーが一つになって走ることで、部活動員の団結が強まる。さらに、困難にくじけない強い精神を培うことができる。さて、12月に入ったある日のランニングタイム終了後に、ある生徒がこんなことを言っていた。「校長先生、私は今は部活の仲間の走りについて行けない状態です。でも、絶対について行けるように頑張ります。」この言葉を聞いて、私は一遍にその生徒のファンになってしまった。おそらく部の仲間や、友達には言えない言葉だったろう。しかし、自分の決意を言葉に出しておきたかったのだと思う。このような一人一人の思いや願い、目標を胸に、写真のように生徒たちは走っている。



常中魂の絆